

## あとがき

「機械記念物—鉄道編(蒸気機関車)—」の選定にあたり、編集委員会として次の四つの選定基準を設けた。1)日本製または日本で実用された外国製蒸気機関車、2)1945年までに製造された蒸気機関車、3)1945年以降に製造された蒸気機関車については、特別なもののみを考慮する、4)現存しないが機械記念物として意義を認められるものは、「幻の名機」として掲載する。

この選定基準により選ばれた蒸気機関車25件が、本冊子に掲載されている。いずれも日本の近代化と経済発展に貢献し、技術史面で意義のある機関車といえる。日本の蒸気機関車の形式称号は1909年と1928年の二回にわたり改正がなされているが、本冊子では両方で表示することにした。ここに掲載される蒸気機関車の記載順序は、現在において保存・活用がなされる地域を考慮して北から南に、官設鉄道(鉄道局、鉄道作業局、鉄道院、鉄道省、国鉄など)と大手私設鉄道(ともに軌間1067mm)、専用鉄道(軌間1067mm)、軽便鉄道(軌間762mm)の順としている。これらの中には展示だけの静態保存機と、客貨車を牽引し運転される動態保存機があり、後者は観光列車として地域活性化の役割も担っていることは、機械記念物の活用と後世への遺産継承の面からすれば誠に喜ばしいことである。

この度の(社)日本機械学会によるこの意義ある事業は、機械記念物に関するこれまでの技術史面からの調査研究成果に基づくものであるが、さらに今後へと継続されなければならない。また多くの会員を始め国内外に向けて情報発信することが重要な課題であり、鉄道分野のみならず機械技術全般に拡大させる必要があろう。

本冊子の発行にあたりご協力いただいた関係各位と、ご指導をいただいた、(社)日本機械学会小林敏雄会長、技術と社会部門勝田正文部門長にお礼を申し上げ結びとしたい。

社団法人 日本機械学会

技術と社会部門

「機械記念物—鉄道編(蒸気機関車)—」編集委員会

堤 一郎 (日本労働研究機構・研究所)

河田耕一 (高知工科大学)

三輪修三 (元 青山学院大学)

### ●協力者一覧 (掲載順、敬称略)

小樽交通記念館	カヤ興産(株)
(株)釧路製作所	宇佐市役所
日本工業大学・工業技術博物館	丸瀬布町役場
東日本旅客鉄道(株)	東武博物館
(財)東日本鉄道文化財団	上松町役場
交通博物館	井笠鉄道(株)
(財)日本ナショナルトラスト	伊予鉄道(株)
東京交通短期大学・昭和鉄道高等学校	直方市石炭記念館
青梅鉄道公園	奥山道紀
東海旅客鉄道(株)	田仲文郎
西日本旅客鉄道(株)	三輪修三
交通科学博物館	河田耕一
梅小路蒸気機関車館	堤 一郎

The Japan Society of Mechanical Engineers

Shinanomachi-Rengakan Budg.

Shinanomachi 35, Shinjuku-ku,

Tokyo 160-0016 Japan

TEL:+81-3-5360-3500,FAX:+81-3-5360-3508

© 2002 by The Japan Society of Mechanical Engineers

本冊子は、(社)日本機械学会「2001年度機械工学振興事業資金」援助により企画・編集し、発行したものである。

2002年 2月28日 発行

社団法人 日本機械学会

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館 5階

TEL:03-5360-3500(代表) FAX:03-5360-3508

© 2002 社団法人 日本機械学会



# 機械記念物

— 鉄道編(蒸気機関車) —

## Memorials in Mechanical Engineering

Railway Edition, Steam Locomotives

社団法人 日本機械学会  
The Japan Society of Mechanical Engineers

## 「機械記念物—鉄道編(蒸気機関車)—」の発行に際して

1997年7月、日本機械学会は創立100周年を迎え、その記念事業の一環として「機械記念物—工作機械編—」という小冊子を発刊した。これは今日にいたる機械技術の発展過程を知るために有意義な機械記念物所在調査の成果をもとに、その第一集として工作機械を取り上げたもので、これらの機械は大学、高専、研究所、企業などにおいて保存・活用されている。

この小冊子に続き本会会員の手により「日本の機械技術遺産」と題する書物が2000年12月に刊行され、世の人々に好評をもって迎えられた。

この度、この小冊子続編の編集と刊行に対して、日本機械学会から機械工学振興事業資金援助をいただくことができ、四年ぶりに技術と社会部門の一事業として、続編「機械記念物—鉄道編(蒸気機関車)—」を世に送り出すことができた。

産業革命を生産面で支えた工作機械に次ぎ、輸送革命の担い手となった高圧蒸気機関搭載の蒸気機関車について、日本国内に残り、機械技術史の上で意義ある記念物として25件を取り上げている。先の工作機械編同様、この小冊子を本会の多くの会員の皆様が活用して下さることを大いに期待したい。

この小冊子刊行にあたりご協力いただいた関係各位と、編集委員会の堤 一郎・河田 耕一・三輪修三の三氏には部門を代表して厚くお礼を申し上げます。

(社)日本機械学会 技術と社会部門  
部門長 勝田 正文

## まえがき

1872年10月の新橋—横浜間公式開業以来今日にいたるまで、鉄道は日本の陸上交通機関の中核として重要な役割を果たしてきた。中でも蒸気機関車は先頭に立って列車を牽引するばかりでなく、日本の近代化を推進させる原動力としても計り知れない役割を担ってきた。産業面から見ても、蒸気機関車に代表される鉄道車両工業は日本の機械工業を牽引してきたのであり、技術面から見てもその研究成果は戦前の機械学会誌に多数掲載されている。まさに蒸気機関車は機械技術とともに歩み、機械工学を推進してきたといっても過言ではない。

1960年代以降の動力近代化により、営業線上から蒸気機関車の姿が見られなくなって久しいが、地域振興など社会的要請と観光目的もかねて近年蒸気機関車が再び注目され復活運転が各地で開始されている。これは機械技術遺産の有効活用のみならず、後世への技術・技能の保存と継承を兼ねた積極的取り組みとして、社会的にも注目されるべきことからである。

こうした時期に、日本機械学会から機械工学振興事業資金の援助をいただき、日本近代化の推進役として多大な社会貢献をし、かつ国内に保存されている蒸気機関車を選定して、その中から機械技術史面で意義あるものを先の「機械記念物」の続編としてまとめる機会を得たことは貴重である。この小冊子には、1945年までに日本国内で実用され現存する蒸気機関車25件が掲載されているが、その選定は三名の編集担当者の討議により定められた選定基準に従って行われたものであることを、お断りしておきたい。

本冊子に掲載された蒸気機関車を通して、それが輸入あるいは製造された時代とその社会的背景を知っていただき、設計や製造そして運転や保守に尽力された多数の日本人技術者・技能者の方々の苦勞を知るとともに、今後の新たな機械技術発展に向けたデータベースの一つとして、多くの会員の方々に活用されることを願ってやまない。

(社)日本機械学会 技術と社会部門 「機械記念物—鉄道編(蒸気機関車)—」編集委員会

堤 一郎  
河田 耕一  
三輪 修三

## On the publication of "Memorials in Mechanical Engineering: Railway Edition, Steam Locomotives"

The Japan Society of Mechanical Engineers (JSME) once published a booklet "Memorials in Mechanical Engineering: Machine Tool Edition" in July of 1997, commemorating the centennial anniversary of the Society. Fortunately, this booklet was welcomed by members of the Society and widely used for education or other engineering activities. Succeeding to this publication, the Technology and Society Division started a wide range of serial work to survey and compile distinguished heritages in mechanical engineering in modern Japan. In December of 2000, the work fruited as publication of a book titled "Japanese Heritages in Mechanical Engineering", in which as many as 60 machines of various kinds were dealt with.

This time, with a financial support of the Society, the Technology and Society Division publishes a new booklet "Memorials in Mechanical Engineering: Railway Edition, Steam Locomotives". For mechanical engineering, the importance of railway is, no doubt, out of the question. Notable 25 models of steam locomotives are introduced here with the past, but also for further study and education of mechanical engineering and technology.

Acknowledgement and Cordial thanks are due to the Society for its financial support, and to our colleagues who contributed to compiling of the articles and publication of the booklet.

Technology and Society Division, JSME  
Chairman: KATSUTA Masafumi

## Preface

From the beginning of Japanese Government Railways(JGR), when Shimbashi(in Tokyo)-Yokohama line opened in October of 1872, up to present days, railway has played an important role by bearing the main part of land transportation throughout Japan and contributed to industrialization and modernization of our country. Among so many kinds of equipments or institutions relating to railway, steam locomotives have special and prominent importance in the field of mechanical engineering, because rolling stock industries characterized by designing and manufacturing steam locomotives led the growth of machine industries and development of mechanical engineering and technology.

As a result of modernization of locomotives intensively driven by JNR(Japanese National Railways, reorganized body of JGR in 1949) after 1960s, steam locomotives rapidly retired and were replaced to diesel or electric locomotives. At present, very few steam locomotives can be observed only as monumental exposition in museums, or in the form of live service of preservation railways in rural districts.

Under this circumstances, JSME granted to publish a booklet "Memorials in Mechanical Engineering: Railway Edition, Steam Locomotives". This booklet contains notable 25 steam locomotives including imported ones, which were manufactured and practiced before 1945(the year WW II ended) and can still be seen in museums or preservation railways. Locomotives illustrated here were selected according to the degree of contribution to the development of Japan's mechanical engineering and technology and/or promotion of industries or people's daily life in relevant local society. All responsibilities belong to the editors for selection of these locomotives.

Through this booklet, readers are able to remind the days and social background these locomotives were manufactured and practiced in service. It is strong hope of the editors that readers keep in their mind pioneering activities of those who dedicated themselves to design, manufacture, operation, or maintenance of these engines at that time. In addition, the editors expect this booklet will be used by many people for uplifting their enthusiasm for creation of future technology.

Editing Committee of  
"Memorials in Mechanical Engineering: Railway Edition, Steam Locomotives"  
TSUTSUMI Ichiro, KAWATA Koichi, MIWA Shuzo.

【訂正のお願いとお詫び】

「機械記念物—鉄道編(蒸気機関車)—」の発行に際して、の下記英文(3ページ)に訂正がございませぬ。下線部が抜けておりましたので、お詫びするとともにご訂正をお願いいたします。

This time, with a financial support of the Society, the Technology and Society Division publishes a new booklet "Memorials in Mechanical Engineering: Railway Edition, Steam Locomotives". For mechanical engineering, the importance of railway is, no doubt, out of the question. Notable 25 models of steam locomotives are introduced here with brief explanation. We hope this booklet is, as precedent one, welcomed by many people and used not only for recollection of the past, but also for further study and education of mechanical engineering and technology.

編集委員会  
ごさいませぬ。

## A 小樽交通記念館

Otaru Transportation Museum

①7150形蒸気機関車：7150号 (2-6-0 Tender Engine)

静態保存展示、1964年準鉄道記念物指定、1895年北海道炭鉄鉱道手宮工場製2-6-0テンダ式機関車で、国産機では2番目。日清戦争の大勝を記念し、大勝号と命名された。著名な義経、弁慶を模範とし、アメリカからの輸入部品を使い製造されたもの。弁装置はスチープンソン式、設計と製造はともに日本人技術者である。

Hokkaido Tanko Railway's "Taisho-go" 2-6-0 tender engine built by its Temiya-workshop. After nationalization, this engine renamed Class 7150 No.7150. This engine is noted as the second oldest locomotive domestically-built.



## B 釧路製作所・釧路工場

Kushiro Seisakusho Co. Ltd., Kushiro Works

②8700形蒸気機関車：8722号 (4-6-0 Tender Engine)

静態保存展示、旧雄別鉄道8722号、1912年汽車製造会社製4-6-0テンダ式機関車で、蒸気機関車国産化の見本としてイギリスから輸入された8700形を基に、汽車製造会社で製造された中の1両。旧国鉄から北海道拓殖鉄道を経て雄別炭鉄鉱道(のち雄別鉄道)に譲渡され、石炭輸送に活躍した。炭鉱閉山後は釧路製作所釧路工場構内に保存展示された。大正期の国産蒸気機関車量産前の製造技術を伝える技術遺産として貴重な存在。弁装置はワルシャート式。

Japanese Government Railway's (JGR's) Class 8700 No.8722 4-6-0 tender engine domestically-built in 1912 by Kisha Seizo Kaisha.

## C 日本工業大学・工業技術博物館

Museum of Industrial Technology, Nippon Institute of Technology

③2100形蒸気機関車：2109号 (0-6-2 Tank Engine)

動態保存展示運転、1992年産業考古学会推薦産業遺産、1891年イギリス・ダブス社製0-6-2タンク式機関車で、明治期の代表的な機関車の一つ。旧名称でB6とよばれ日本各地の幹線や勾配線で活躍、戦後は駅構内での入換用としても長く使われた。2109号は西濃鉄道を経て大井川鉄道で動態保存運転された後、日本工業大学へ寄贈され現在に至っている。弁装置はスチープンソン式。

JGR's Class 2100 No.2109 0-6-2 tank engine built in 1891 by Dubs, United Kingdom. This is well known as Class B6 (old numbering), and used by JGR together with many other private railways in Japan.



## D 交通博物館

Transportation Museum

④150形蒸気機関車：1号 (2-4-0 Tank Engine)

静態保存展示、1958年鉄道記念物指定、1997年重要文化財指定、日本の鉄道開業にあたりイギリスから輸入された10両中の1両で形式150形。建設工事から使用され開業後も京浜間で列車牽引した由緒あるもの。1871年イギリスのヴァルカン・ファウンドリー社製2-4-0タンク式機関車で、1997年重要文化財に指定。外観は原形とは異なり改造されている。弁装置はスチープンソン式。同時期輸入機に青梅鉄道公園110形(1961年鉄道記念物指定)、博物館明治村160形がある。

JGR's No.1 (later Class 150) 2-4-0 tank engine built in 1871 by Vulcan Foundry, United Kingdom. This engine used on Tokyo-Yokohama line in 1872, and was designated by the Agency for Cultural Affairs of Japanese Government as "Important Cultural Properties" in 1997.

## E 東京交通短期大学・昭和鉄道高等学校附属交通資料館

Transportation Museum of Tokyo Junior College of Transportation and Showa Railway High School

⑤220形蒸気機関車：220号 (2-4-2 Tank Engine)

静態保存展示、1891年イギリス・ダブス社製軸配置2-4-2の明治期標準形機関車。関西鉄道が2両輸入した中の1両で同鉄道57号が前身。本州初のワルシャート式弁装置を持つ機関車として知られる。多摩鉄道(現在の西武鉄道多摩川線)A1を経て西武鉄道に移管、後に実物教材として保存展示された。

Kansai Railway's No.57 (later JGR Class 220) 2-4-2 tank engine built in 1891 by Dubs, United Kingdom. This engine has Walshirt type valve gear mechanism, and this is the first use of it in the main Island of Japan.



## F 青梅鉄道公園 Ome Railway Park



⑥8620形蒸気機関車：8620号 (2-6-0 Tender Engine)

静態保存展示、大正期を代表する軸配置2-6-0の幹線旅客用国産テンダ式機関車で、制式機関車として687両もつくられ全国各地で活躍した。8620号は1914年に汽車製造会社で製造された第1号機である。

JGR's 2-6-0 Class 8620 No.8620 tender engine domestically-built in 1914 by Kisha Seizo Kaisha. This was noted as standard trunk-line passenger locomotive in Taisho period.



⑧C51形蒸気機関車：C515号 (4-6-2 Tender Engine)

静態保存展示、1919年に鉄道省浜松工場で製造された軸配置4-6-2の旅客用国産テンダ式機関車で、日本の近代型蒸気機関車の先駆けといえる。直径1750mmの大形動輪は国産蒸気機関車では初めてのもの。同形機が289両製造され、中にはお召し列車牽引機もあった。

JGR's 4-6-2 Class C51 No.C515 tender engine domestically-built in 1919 by its Hamamatsu works, JGR. This was widely used for trunk-line express passenger services in Taisho through Showa period.



⑦9600形蒸気機関車：9608号 (2-8-0 Tender Engine)

静態保存展示、大正期を代表する軸配置2-8-0の幹線貨物用国産テンダ式機関車で、制式機関車として770両もつくられ全国各地で活躍した。9608号は1914年に川崎造船所で製造された初期形の1両である。

JGR's 2-8-0 Class 9600 No.9608 tender engine domestically-built in 1914 by Kawasaki Zosensho. This was noted as standard trunk-line freight locomotive in Taisho period.



⑨C11形蒸気機関車：C111号 (2-6-4 Tank Engine)

静態保存展示、1932年汽車製造会社製の軸配置2-6-4のタンク式機関車。都市近郊や地方線の客貨両用に活躍した量産形で、381両も製造されたタンク式機関車の標準的存在。同系機のC10形(C108号:大井川鉄道)、C12形(C122号:三笠鉄道記念館、その他多数)が保存されている。

JGR's 2-6-4 Class C11 No.C111 tank engine domestically-built in 1932 by Kisha Seizo Kaisha. This was for local-line passenger and freight locomotive in Showa period. It is still in use at several preservation railways in Japan.

## ④ JR東海・御殿場線山北駅構内

Yamakita Station of Gotemba Line, Central Japan Railway Co.

### ⑩ D52形蒸気機関車：D5270号 (2-8-2 Tender Engine)

静態保存展示，1944年川崎車輦で製造された国産最大の貨物用テンダ式機関車で，軸配置は2-8-2。国内に6両が保存されるだけ。

JGR's 2-8-2 Class D52 No.D5270 tender engine domestically-built in 1944 by Kawasaki Sharyo Mfg. Co.. This was noted as standard trunk-line most powerful heavy freight locomotive in Showa period.



## ⑤ 交通科学博物館

Modern Transportation Museum



### ⑪ 1800形蒸気機関車：1801号 (0-6-0 Tank Engine)

静態保存展示，1965年準鉄道記念物指定，官設鉄道京都ー大津間開業にあたり，この区間の勾配線用に輸入された1881年イギリス・キットオン社製0-6-0タンク式機関車，弁装置はスチーブソン式。同形車は13両だが現存するのは1801号のみ。

JGR's Class 1800 No.1801 0-6-0 tank engine built in 1881 by Kitson, United Kingdom. This locomotive used on Kyoto-Otsu steep slope line.

### ⑫ 230形蒸気機関車：232号 (2-4-2 Tank Engine)

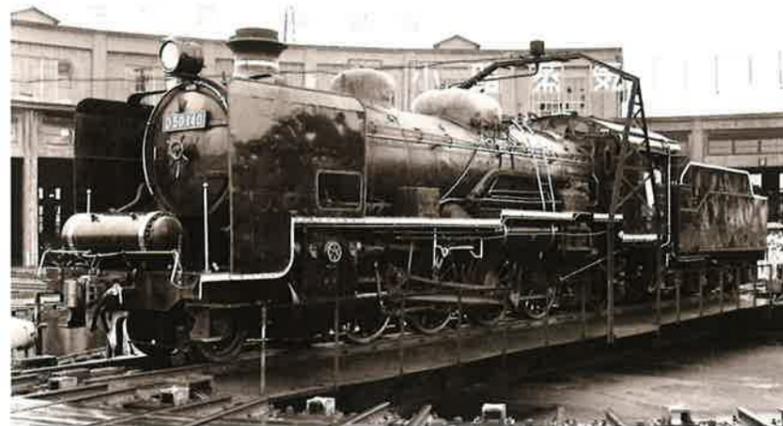
静態保存展示，1986年準鉄道記念物指定，1903年大阪汽車製造会社で製造された国産機関車。2-4-2の軸配置は明治期の標準形。弁装置はジョイ式。民間鉄道車両会社が41両も量産した初の機関車として意義深い。

JGR's Class 230 No.232 2-4-2 tank engine domestically-built in 1903 by Kisha Seizo Kaisha. This was one of the earliest mass-produced locomotives in Meiji period of Japan.



## ④ 梅小路蒸気機関車館

Umekoji Steam Locomotive Museum



### ⑬ D50形蒸気機関車：D50140号 (2-8-2 Tender Engine)

静態保存展示，1926年日立製作所で製造された貨物用大形国産機関車で，同形車は380両。貨物用の他に勾配線でも活躍し，重量貨物列車を牽引した。この機関車を改良したものが有名なD51形である。

JGR's 2-8-2 Class D50 No.D50140 tender engine domestically-built in 1926 by Hitachi Seisakusho. This was widely used for trunk-line heavy freight trains in Showa period.

### ⑭ C53形蒸気機関車：C5345号 (4-6-2 Tender Engine)

静態保存展示，左右の他，台枠内にもシリンダを持つ三気筒形機関車で，わが国では貴重な存在。97両が製造された。C5345号は1928年汽車製造会社でつくられ幹線で活躍したが保守が困難であった。廃車後1両が鷹取工場で復元され，大阪の交通科学博物館に静態保存，現在は梅小路蒸気機関車館に移管された。

JGR's 3-cylinder 4-6-2 Class C53 No.C5345 tender engine domestically-built in 1928 by Kisha Seizo Kaisha. This was used for trunk-line express passenger services in early Showa period.



### ⑮ D51形蒸気機関車：D511号 (2-8-2 Tender Engine)

静態保存展示，昭和期を代表する貨物用蒸気機関車。1936年に川崎車輦で製造された2-8-2テンダ式機関車の第1号機。同時代の旅客用機関車にC57形 (C571号：1937年川崎車輦製) があり，こちらは山口線で動態保存運転されている。

JGR's 2-8-2 Class D51 No.D511 tender engine domestically-built in 1936 by Kawasaki Sharyo Mfg.Co. This was designed and operated for heavy freight haulage and nationwide use in Showa period. This is the most familiar locomotive in Japan.

### ⑯ C57形蒸気機関車：C571号 (4-6-2 Tender Engine)

動態保存運転，1937年川崎車輦で製造された軸配置4-6-2のテンダ式旅客用機関車で，その美しいスタイルは多くの人々を魅了する。現在も山口線で客車を牽引し活躍している。この機関車を大形化したのがC59形である。

JGR's 4-6-2 Class C57 No.C571 tender engine domestically-built in 1937 by Kawasaki Sharyo Mfg. Co.. This was operated for nationwide use for fast passenger services in Showa period. This locomotive was nicknamed "Lady" for its elegant appearance.



## 加悦SL広場

### Kaya Steam Locomotive Square

⑩120形蒸気機関車：123号 (2-4-0 Tank Engine)

静態保存展示。2000年度産業考古学会推薦産業遺産認定、阪神間鉄道開業にあたりイギリスから輸入された機関車で、同形4両が活躍した。1873年世界初の機関車会社であるロバート・スチーブソン社製2-4-0タンク式機関車。加悦鉄道で長く使われ現在は加悦SL広場で静態保存中。弁装置はスチーブソン式。原形の姿を残す、世界に数少ない同社製名門機関車の1両である。

JGR's No.123(1893, renamed Class 120) 2-4-0 tank engine built in 1873 by Robert Stephenson, United Kingdom. This locomotive was used on Osaka-Kobe line in 1874.



## 宇佐八幡宮(宇佐市役所)

### Usa-hachimangu Shrine

⑪10形蒸気機関車：26号 (0-4-0 Tank Engine)

静態保存展示。1966年準鉄道記念物指定。1891年ドイツ・クラウス社で製造された軸配置0-4-0の小形タンク式機関車で、九州鉄道19号が前身。弁装置はワルシャート式。小形ながら使いやすく、長く愛用された優秀機。

Kyushu Railway's No.19 0-4-0 tank engine built in 1891 by Krauss, Germany. After nationalization, this locomotive renamed Class 10 No.26. This is small but useful and lovely locomotive.



## 幻の名機

### Memorable Steam Locomotive now lost

⑫860形蒸気機関車：221号 (2-4-2 Tank Engine)

(幻の名機)：現存せず。鉄道庁神戸工場で1893年完成した国産第1号の機関車で、軸配置2-4-2の複式シリンダを持つタンク式機関車。弁装置はジョイ式。イギリス人技術者リチャード・フランシス・トレヴィシックの設計で、輸入材や在庫品を使い日本人技術者の手により完成した意義あるもの。1929年樺太庁鉄道で廃車になり現存しない。

JGR's No.221(1893, renamed Class 860) 2-4-2 tank engine. This is the first domestically-built locomotive manufactured in 1893 by Kobe-works, JGR under the guidance of Mr.R.F.Trevisick, the superintendent of the works.

## 丸瀬布いこいの森

### (丸瀬町役場)

#### Maruseppu Forest Park

⑬丸瀬布いこいの森21号：(0-6-0 Tank Engine)

動態保存運転。旧ムリイ森林鉄道21号。1928年雨宮製作所製0-6-2タンク式機関車。長くムリイ森林鉄道で使われ、使用休止後保管されていたものを1979年動態保存運転化した。雨宮製作所は中小規模の車両会社ながら、数多くの機関車を製造販売したことで知られる。

National Forest Railway's No.21 0-6-0 light tank engine built by Amemiya Seisakusho in 1928. This is still in active service at Maruseppu Forest Park in Hokkaido.

## 東武博物館

### Tobu Museum of Transport and Culture

⑭東武鉄道5号：(4-4-0 Tender Engine)

静態保存展示。東武鉄道の開業にあたり1898年イギリスのペイヤー・ピーコック社から輸入された4-4-0テンダ式機関車。現在は東武博物館内で動輪等を動かし静態保存展示されている。

Tobu Railway's No.5 4-4-0 tender engine built in 1898 by Beyer Peacock, United Kingdom. This is now preserved at Tobu Museum of Transport and Culture, Tokyo.



## 赤沢森林鉄道記念館(上松町役場)

### Akazawa Forest Railway Memorial Museum

⑮小川森林鉄道1号：(0-4-2 Tank Engine)

静態保存展示。長野県木曾地方の森林鉄道で使われた1915年アメリカ・ボールドウィン社製0-4-2リアタンク式機関車。長く木曾絵の輸送に貢献した林業機械化の重要な記念物であり、この機関車を基にした国産機も製造されている。

National Forest Railway's No.1 0-4-2 light tank engine built in 1915 by Baldwin Locomotive Works, United States. This is now preserved at Akazawa Forest Railway Memorial Museum in Nagano Prefecture.



## 伊予鉄道梅津寺パーク

### Baishinji Temple Park of Iyo Railway

⑯伊予鉄道1号：(0-4-0 Tank Engine)

静態保存展示。1967年鉄道記念物指定。1888年ドイツ・クラウス社製蒸気機関車で、軌間762mmの軽便機関車では現存最古のもの。松山市の伊予鉄道本社前にも、この機関車の複製が展示されている。この他、新居浜市の別子銅山記念館には同鉱山の1号機関車が保存展示され、これは1963年準鉄道記念物指定。

Iyo Railway's No.1 0-4-0 light tank engine built in 1888 by Krauss, Germany. This is now preserved at Baishinji Temple Park of Iyo Railway in Ehime Prefecture.



## 井笠鉄道記念館

### Ikasa Railway Memorial Museum

⑰井笠鉄道1号：(0-4-0 Tank Engine)

静態保存展示。1913年ドイツ・コッペル社製0-4-0タンク式機関車で、井笠鉄道開業時から使われた。旧新山駅を利用した井笠鉄道記念館で客車・貨車とともに大切に保存展示されているが、各地の軽便鉄道で使われたコッペル社製機関車のまさに標準形といえよう。

Ikasa Railway's No.1 0-4-0 light tank engine built in 1913 by Orenstein und Koppel, Germany. This is now preserved at the Ikasa Railway Memorial Museum in Okayama Prefecture.



## 直方市石炭記念館

### Nogata Municipal Coal Memorial Museum

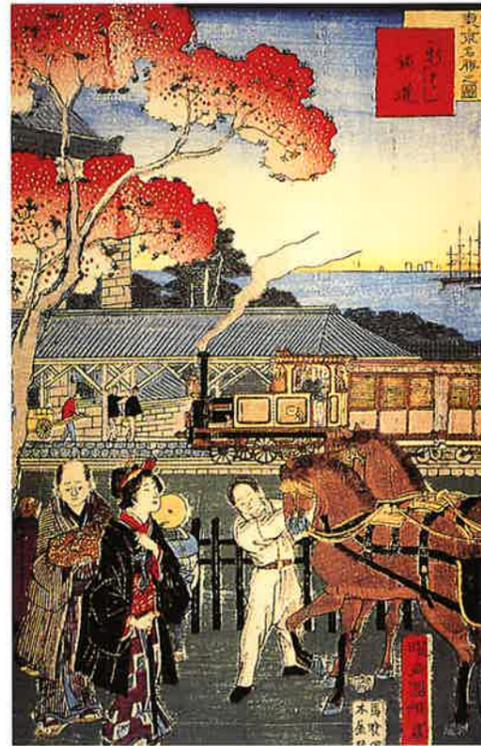
⑱貝島炭鉱専用鉄道32号：(2-6-2 Tank Engine)

静態保存展示。1925年ドイツ・コッペル社製2-6-2タンク式機関車。長く貝島炭鉱専用鉄道で、石炭輸送列車の牽引に活躍した。同社製蒸気機関車は日本に多数輸入されたが、この機関車は国内最大規模のもの。

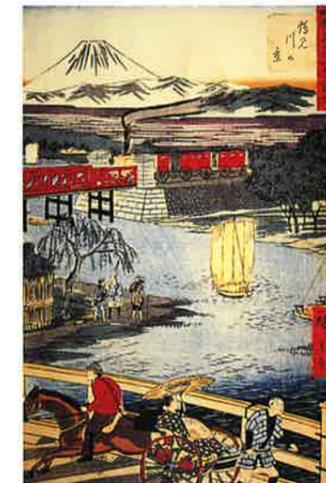
Kaijima Tanko Industrial Railway's No.32 2-6-2 tank engine built in 1925 by Orenstein und Koppel, Germany. This engine was used for heavy coal freight trains and is now preserved at Nogata Municipal Coal Memorial Museum in Fukuoka Prefecture.

所在地一覧

- ① 小樽交通記念館 (①)  
〒047-0041 北海道小樽市手宮 1-3-6, TEL:0134-33-2523
- ② 釧路製作所・釧路工場 (②)  
〒085-0044 北海道釧路市川北町,釧路製作所内, TEL:0154-22-7135
- ③ 日本工業大学・工業技術博物館 (③)  
〒345-0826 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1, TEL:0480-34-4111
- ④ 交通博物館 (④)  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-25, TEL:03-3251-8481
- ⑤ 東京交通短期大学・昭和鉄道高等学校附属交通資料館 (⑤)  
〒170-0011 東京都豊島区池袋本町 2-9-1, TEL:03-3971-4704
- ⑥ 青梅鉄道公園 (⑥,⑦,⑧,⑨)  
〒198-0041 東京都青梅市勝沼 2-155, TEL:0428-22-4678
- ⑩ JR東海・御殿場線山北駅構内 (⑩)  
〒258-0113 神奈川県足柄上郡山北町山北, TEL:0465-75-0077
- ⑪ 交通科学博物館 (⑪,⑫)  
〒552-0001 大阪府大阪市港区波除 3-11-10, TEL:06-6581-5771
- ⑬ 梅小路蒸気機関車館 (⑬,⑭,⑮,⑯)  
〒600-8835 京都府京都市下京区観喜寺町, TEL:075-314-2996
- ⑰ 加悦SL広場 (⑰)  
〒629-2422 京都府与謝郡加悦町字滝 941-2, TEL:0772-42-3186
- ⑱ 宇佐八幡宮 (宇佐市役所) (⑱)  
〒872-0453 大分県宇佐市上田1030, TEL:0978-32-1111
- ⑳ 丸瀬布いこいの森 (丸瀬布町役場) (⑳)  
〒099-0203 北海道紋別郡丸瀬布町中町, TEL:01584-7-2211
- ㉑ 東武博物館 (㉑)  
〒131-0032 東京都墨田区東向島 4-28-16, TEL:03-3614-8811
- ㉒ 赤沢森林鉄道記念館 (上松町役場) (㉒)  
〒399-5603 長野県木曾郡上松町駅前通り 2-13, TEL:0264-52-2001
- ㉓ 井笠鉄道記念館 (㉓)  
〒714-0007 岡山県笠岡市山口 1457-8, 08656-5-2218
- ㉔ 伊予鉄道梅津寺パーク (㉔)  
〒790-8691 愛媛県松山市湊町4-4-1, TEL:089-948-3323
- ㉕ 直方市石炭記念館 (㉕)  
〒822-0016 福岡県直方市直方山部御館山 692-4, TEL:0949-25-2243



東京名勝之図 新はし鉄道 (1874年)



東京横浜名所一覽図会 鶴見川の景 (1872年)



東京横浜名所一覽図会 横浜道ひらぬま新地 (1872年)

Location List

- ① Otaru Transportation Museum (①)  
1-3-6, Temiya, Otaru, Hokkaido, 047-0041 Japan  
TEL:+81-134-33-2523
- ② Kushiro Seisakusho Co. Ltd., Kushiro Works (②)  
9-19, Kawakita-cho, Kushiro, Hokkaido, 085-0044 Japan  
TEL:+81-154-22-7135
- ③ Museum of Industrial Technology, Nippon Institute of Technology (③)  
4-1, Gakuen-dai, Minamisaitama-gun, Saitama, 345-0826 Japan  
TEL:+81-480-34-4111
- ④ Transportation Museum (④)  
1-25, Suda-cho, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0041 Japan  
TEL:+81-3-3251-8481
- ⑤ Museum of Tokyo Junior College of Transportation & Showa Railway High School (⑤)  
2-9-1, Ikebukuro-honcho, Toshima-ku, Tokyo, 170-0011 Japan  
TEL:+81-3-3971-4704
- ⑥ Ome Railway Park (⑥,⑦,⑧,⑨)  
2-155, Katsunuma, Ome, Tokyo, 198-0041 Japan  
TEL:+81-428-22-4678
- ⑩ Yamakita Station of Gotemba-line, Central Japan Railway Co. Ltd. (⑩)  
Yamakita, Yamakita-machi, Ashigarakami-gun, Kanagawa, 258-0113 Japan  
TEL:+81-465-75-0077
- ⑪ Modern Transportation Museum (⑪,⑫)  
3-11-10, Namiyoko, Minato-ku, Osaka, 552-0001 Japan  
TEL:+81-6-6581-5771
- ⑬ Umekoji Steam Locomotive Museum (⑬,⑭,⑮,⑯)  
Kankiji-cho, Shimokyo-ku, Kyoto, 600-8835 Japan  
TEL:+81-75-314-2996
- ⑰ Kaya Steam Locomotive Square (⑰)  
941-2, Taki, Kaya-cho, Yosa-gun, Kyoto, 629-2422 Japan  
TEL:+81-772-42-3186
- ⑱ Usa-hachimangu Shrine (Usa Municipal Office) (⑱)  
1030, Ueda, Usa, Oita, 872-0453 Japan  
TEL:+81-978-32-1111
- ⑳ Maruseppu Forest Park (Maruseppu-town Office) (⑳)  
Naka-machi, Maruseppu-cho, Mombetsu-gun, Hokkaido, 099-0203 Japan  
TEL:+81-1584-7-2211
- ㉑ Tobu Museum of Transport and Culture (㉑)  
4-28-16, Higashi-mukojima, Sumida-ku, Tokyo, 131-0032 Japan  
TEL:+81-3-3614-8811
- ㉒ Akazawa Forest Railway Memorial Museum (Agematsu-town Office) (㉒)  
2-13, Ekimae-dori, Agematsu-machi, Kiso-gun, Nagano, 399-5603 Japan  
TEL:+81-264-52-2001
- ㉓ Ikasa Railway Memorial Museum (㉓)  
1457-8, Yamaguchi, Kasaoka, Okayama, 714-0007 Japan  
TEL:+81-8656-5-2218
- ㉔ Baishinji Temple Park of Iyo Railway (㉔)  
4-4-1, Minato-cho, Matsuyama, Ehime, 790-8691 Japan  
TEL:+81-89-948-3323
- ㉕ Nogata Municipal Coal Memorial Museum (㉕)  
692-4, Mitateyama, Nogata-yamabe, Nogata, Fukuoka, 822-0016 Japan  
TEL:+81-949-25-2243

